01 TOP MESSAGE
トップメッセージ

2024年度は、当社にとって新たな挑戦に満ちた一年となりました。当社は、サステナビリティ経営をより一層推進すべく、国際的な枠組みである国連グローバル・コンパクトに署名し、そのコミットメントを明確にいたしました。また、EcoVadis社によるサステナビリティ評価では、目標としていたシルバーメダルを獲得することができ、これまでの取り組みを客観的に評価頂きました。これは、サステナビリティへの当社の強いコミットメントと、パフォーマンスを継続的に改善していく決意の証です。2025年2月には当社初の社員総会を開催し、全社員でこれまでの歩みと提供価値の変遷を共有し、未来に向けた新たな価値創造への意識を醸成する貴重な機会となりました。全社員が一丸となってサステナビリティを事業活動の中心に据え、持続可能な社会の実現と企業価値の向上を両立させるべく、取り組んでまいります。これらの基盤を築いた2024年度を経て、当社はこれからもサステナビリティと価値創造の追求を止めることはありません。

Environment（環境）

環境面では、GHG（温室効果ガス）排出量の精緻な算出について、専用ソフトの導入を進め、着実にその仕組みを構築しております。透明性の高い情報開示に向けた重要な一歩として、2025年度にはより詳細なデータブックの作成にも取り組み、環境負荷低減への貢献をさらに推進してまいります。サステナブル素材の使用量が着実に増加しており、資源循環型社会への貢献を強化しております。特に、2021年度から取り組んできた海洋漂着ペットボトル由来素材「UpDRIFT（アップドリフト）」を用いた制服の着用が開始されたことは、具体的な成果となりました。

Social（社会）

社会面においては、「DE&I（ダイバーシティ、エクイティ＆インクルージョン）」の推進を重要課題と捉え、D&I AWARDの継続認定取得や、職場内障がい者サポーターの支援といった具体的な取り組みを進めてまいりました。当社は、年齢、性別、人種、国籍、宗教、障がい、性的指向、性自認等によるあらゆる差別やハラスメントを排除し、誰もが安心して能力を発揮できる公平で包摂的な職場環境の実現に引き続き尽力してまいります。加えて、サプライチェーンにおける人権尊重の責任を果たすため、縫製工場へのCSR監査を継続し、重要課題の特定と実効性のある人権デューデリジェンスの運用にこれまで以上に注力してまいります。

Governance（ガバナンス）

ガバナンス体制の強化は、経営の透明性、客観性、健全性を確保する上で不可欠であり、当社は引き続きこの分野に注力しています。2024年度は、ハラスメント防止、知的財産権保護、情報セキュリティに関する研修を実施し、社員一人ひとりの意識向上とリテラシー強化を図りました。さらに、不正会計・不正行為防止研修や、フリーランス新法への対応研修を新たに導入することで、変化する社会環境に対応したコンプライアンス体制の確立を進めています。全社員がガバナンスの重要性を深く理解し、倫理に基づいた事業活動を推進することで、社会からの信頼に応えてまいります。

当社がサステナビリティ方針とマテリアリティを策定してから、4年が経過いたしました。事業を展開する上で、サステナビリティ経営が前提となり、これまでの取り組みで得られた成果と、未だ残る課題を改めて整理し、5年目の新たな目標達成に向け、一層邁進してまいります。私たちのサステナビリティの追求は、当社単独では決して成し遂げられるものではありません。お客様、お取引先様、従業員、地域社会、そして未来を担う世代といった全てのステークホルダーの皆様との「共創」が不可欠であると確信しております。個人や一企業だけでは解決が困難な地球規模の課題に対し、これからも多様なパートナーシップを通じて、共に持続可能な未来を築いていく所存です。本レポートを通じて、当社のサステナビリティへの取り組みをご理解いただき、皆様との対話がさらに深まることを願っております。今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2025年 11月

代表取締役社長　**村上 哲**